

高橋徹氏が「インターネットの殿堂」入り

藤崎 智宏

NTT サービスインテグレーション基盤研究所

Internet Society (ISOC) は1992年に設立され、2012年で20周年となる。ISOCでは、この20周年の記念、および、インターネットが世界中に大きな影響を与えるまでに広まったことを広報することを目的として、「インターネットの殿堂 (Internet Hall of Fame)」を設立した。この「インターネットの殿堂」は、インターネットの開発・普及に大きな貢献をした人物に贈られる賞とされており、第1回の「殿堂入り」となった方々が、ISOCの20周年を記念する国際会議であるGlobal INET 2012 (2012年4月22日～24日まで、スイス・ジュネーブで開催)にて、23日に発表された。当日は受賞式に続き、受賞の祝宴も開催され、宴に参加した多くのインターネット関係者が受賞を祝福した。

「インターネットの殿堂」は、「バイオニア」「イノベーター」「グローバル・コネクター」の3分野に分かれており、「バイオニア」は初期インターネットの設計・開発に重要な役割を果たした方々、「イノベーター」はインターネットの技術イノベーションや政策に関する働きかけで協力した方々、「グローバル・コネクター」はネット

の成長と普及を支えた方々となっている。今回、高橋 徹氏 (写真) は、「グローバル・コネクター」として、日本、アジアのインターネット普及推進に多大なる貢献をした功績により、殿堂入りされた。

なお、第1回の受賞者は、資料6-1-4のとおりとなっている。

高橋徹氏の功績

高橋氏受賞を表す言葉として、「アジアのインターネット」「UNIX」「Internet Society」の3つが挙げられている。高橋氏は、1980年代から、UNIXワークステーションを利用としたインターネット構築に取り組み、日本UNIX協会とインターネット協会の設立、日本における最大級のインターネットイベントであるINTEROPの運営、ISOCの日本支部設立などを通じ、日本のインターネット普及に取り組んで来られた。その後、アジアのインターネット資源管理組織であるAPNICの議長を務めるなど、日本のみならず、アジアの商用インターネット普及に多大なる貢献をされ、現在もIPv6、国際ドメイン名対応など、インターネットのさらなる普及に取り組んでいる。



A) Stonehouse Photographic /Internet Society

高橋氏受賞コメント

高橋氏は授賞式で以下のように述べた。「1月にAPNICのポール・ウィルソンがノミネートしてくれました。この地域ではキルナム・チョン、ランディ・ブッシュ、ジェフ・ヒューストン、タンティン・ウィーの友人たちと一緒にになりました。国内と国際の活動が評価されたものと思います。インターネットの普及啓発に4半世紀を過ごしてきた私にとって、うれしいかぎりです。この上ない名誉であると思います。毎年、Internet Hall of Fameに日本からの受賞、殿堂入りが続くといいですね。一緒に活動してきた日本のインターネットコミュニティの人々の力が認められたものと感じ、ともに喜びたいと思います」。

資料6-1-4 インターネットの殿堂 (Internet Hall of Fame) の受賞者

●バイオニア (14名)

ポール・バラン、ビント・サーフ、ダニー・コーエン、ステーブ・クロッカー、ドナルド・デービス、エリザベス・ファインラー、チャールズ・ハーツフェルド、ロバート・カーン、ピーター・カースタイン、レオナルド・クラインロック、ジョン・クレンシン、ジョン・ポステル、ルイ・プーザン、ローレンス・ロバーツ

●グローバル・コネクター (9名)

ランディ・ブッシュ、キルナム・チョン、アル・ゴア、ナンシー・ハーフキン、ジェフ・ヒューストン、ブルースター・カレー、ダニエル・カレンバーク、高橋 徹、タンティン・ウィー

●イノベーター (10名)

ミッチェル・ベイカー、ティム・ナーズリー、ロバート・カイリュエ、バン・ジェイコブソン、ラリー・ランドウィーバー、ポール・モカベトリス、クレイグ・ニューマーク、レイモンド・トムリンソン、リーナス・トーバルズ、フィリップ・ジーママン

出所 <http://internethalloffame.org/inductees>

インプレスR&D調査報告書シリーズ 関連資料のご案内



携帯電話網 (3G/LTE) からコンピュータ網 (Wi-Fi) が主役へ！



Wi-Fi ネットワーク最新技術動向 2012

[世界のWi-Fiスポット/Wi-Fiオフロード/スーパー Wi-Fi/メッシュネットワーク (802.11s) /スマートグリッド]

CD(PDF)版 89,250円 (税込)

CD+冊子版 99,750円 (税込) ◆A4判 ◆212ページ

スマートフォンやタブレット端末の急速な普及・拡大に伴って、ユーザーのデータトラフィックを、3G / LTE ネットワークに流すのではなく一部Wi-Fiネットワークへ切り替えて、トラフィックを送出する「Wi-Fiデータオフロード」が注目されています。本書は、Wi-Fiネットワークが、今後、LAN (構内網) からWAN (広域網) へと脱皮し、そのサービス形態を拡大しながら発展していく動向をとらえ、新たなビジネスを産み出そうとしている状況を解説していきます。

CONTENTS

- 《第1章》3G/LTEとWi-Fiネットワークの最新動向
- 《第2章》Wi-Fi活用ブームと変わりゆく通信事業者
- 《第3章》Wi-Fiサービスを拡大する国内各社の取り組み
- 《第4章》Wi-Fiサービスを拡大する海外各社の取り組み
- 《第5章》活発化する日本・アジアの自治体等におけるWi-Fi整備の例
- 《第6章》TVホワイトスペースの開放とWi-Fiサービス
- 《第7章》Wi-Fiオフロードで実現する次世代の通信事業
- 《第8章》実践的なメッシュネットワークで実現するWi-Fiサービス
- 《第9章》標準化されたオープンなIEEE 802.11sメッシュネットワーク規格とその全体像

App Storeで成功するためのノウハウを解説！



iPhone・iPad ヒットアプリ調査報告書 2012

[App Store全22カテゴリーの分析と傾向・ランキングデータ付属]

CD(PDF)版 71,400円 (税込)

CD+冊子版 81,900円 (税込) ◆A4判 ◆210ページ

App Storeは世界123カ国向けに42万5000本以上販売され、累積で250億本ダウンロードされるという巨大マーケットとなっています。しかし、このような市場で人気のアプリを出せば、大きなビジネスとなりますが、競合も多くヒットアプリを出すのは至難の業です。本書は、結果を出しているアプリを分析し、このApp Storeという巨大マーケットで成功するための傾向を見出していきます。また、全22カテゴリーに対してiPhone・iPad×無料、有料、トップセールスごとのランキングデータ (CSV形式) も付属しています。

CONTENTS

- 《第1章》iPhone・iPadアプリの最新動向
- 《第2章》iPhone・iPad全カテゴリー分析

国内スマートフォンユーザー1707人、タブレット端末ユーザー888人を対象にしたアプリ利用動向調査を掲載！



スマートフォン時代の世界のアプリ市場調査報告書 2012

[App Store、Android Marketからソーシャルゲームまでユーザーの利用実態と業界動向]

CD(PDF)版 89,250円 (税込)

CD+冊子版 99,750円 (税込) ◆A4判 ◆256ページ

App Store、Android Marketをはじめとするアプリストア市場の最新動向や、ソーシャルゲーム市場およびGREEやMobageなどプラットフォームの最新動向と海外戦略を解説。また、アプリストアのユーザー利用動向を探るため、実際にスマートフォンおよび、タブレット端末を利用しているユーザーに対し、端末やアプリの利用動向を調査する独自調査を実施。単純集計のほか、性年代別、iOS / Android別のクロス集計を掲載しています。

CONTENTS

- 《第1章》世界の主要アプリストア最新動向
- 《第2章》ソーシャルプラットフォーム解説
- 《第3章》独自モデルのプレーヤー研究
- 《第4章》注目のアプリストア解説
- 《第5章》課金・決済プラットフォーム
- 《第6章》スマートフォン向けアプリのマーケティング活動
- 《第7章》個人のスマートフォン/タブレット端末利用動向

[お問い合わせ] 下記フリーダイヤルまでお気軽に

インプレス インターネットメディア総合研究所 ご相談窓口 <http://r.impressrd.jp/iil/>

0120-350-995 平日 11:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
Tel. 03-5275-1087 Fax. 03-5213-6297

株式会社インプレスR&D
インターネットメディア総合研究所
E-mail: report-sales@impress.co.jp
東京都千代田区三番町20番地 〒102-0075
Tel. 03-5275-1087 Fax. 03-5275-9018

マルチデバイスによる個人のインターネット利用動向を徹底調査! 「インターネット白書」未掲載データのクロス集計表も完全収録!

この1年、スマートフォン市場の飛躍的に拡大し、mixiやFacebookに代表されるSNSやTwitterといったソーシャルメディア利用も拡大しました。また、iPadに加え、他社からも次々に端末が投入されタブレット端末も注目を集めユーザーも順調に増加しています。ソーシャルメディアがさまざまなサービスのプラットフォームとなり、スマートフォンやタブレット端末の普及がその動きをさらに拡大させています。

インターネットメディア総合研究所では、個人利用者約5600人を対象として、詳細な利用実態調査を実施しました。特に、スマートフォン、タブレット端末、パソコン、携帯電話それぞれのデバイスによるインターネットサービスやコンテンツの利用の傾向の違いなどを詳細に分析しています。

調査のポイント

●スマートフォン、タブレット端末利用の実態

スマートフォン、タブレット端末ともに利用者が飛躍的に拡大しています。個人の利用率や、今後の利用意向、使用機種、通信機能、利用しているインターネットサービスやソーシャルメディアなどがわかります。

●FacebookやTwitterなどソーシャルメディア利用の実態

日本のソーシャルメディア人口は5,060万人と推測されます。一昨年から利用者が増加しているTwitter、この1年に飛躍的に利用者が増加しているFacebook、ゲームに注力して業績好調のGREE・Mobage、老舗のmixiなどソーシャルメディアの「現状」がわかる調査が満載です。

●電子書籍市場・デジタルコンテンツ市場

外資の参入も噂され注目を集める電子書籍市場。スマートフォンやタブレット端末の普及にあわせて利用者の拡大が予想されます。また、電子ブックリーダーも徐々に広まってきており、閲覧するデバイスによる特徴が見えつつあります。電子書籍利用者の実態とともに、非利用者の今後の意向などを明らかにします。

●マルチデバイスによるインターネット利用の実態

パソコン、従来型の携帯電話に加え、スマートフォン、タブレット端末も普及し、インターネットはマルチデバイス時代へ移行しています。多くのサービスがマルチデバイスへの対応を図る中、それぞれのデバイスで消費者がどのようにインターネットを利用しているのか。多くの設問でデバイス毎に利用状況を調査しています。

	すでに利用している (%)	購入を検討中	将来的に購入する予定	よく知っているが、購入するつもりはない	購入するかどうかはわからない	知らない
全体 (n=5639)	29.9	9.9	17.8	14.9	24.3	3.1
利用者 (n=2934)	41.4	12.3	18.3	10.3	16.3	1.4
非利用者 (n=2705)	17.5	7.3	17.3	19.9	33.0	5.0

図例：スマートフォンの利用状況【ソーシャルメディア利用有無別】

【収録データ】

- ・調査票
- ・単純集計表／グラフ
- ・クロス集計表／グラフ
- ・上記の「調査票」、「単純集計表／グラフ」、「クロス集計表／グラフ」の抜粋、インターネット白書に掲載した「総括」をPDFとして出力しまとめたもの

【クロス軸】

- ①年代 ②地域 ③接続回線 ④居住形態 ⑤最終学歴 ⑥年間世帯収入 ⑦一か月に自由に使える金額 ⑧インターネット利用デバイス派

【設問数】162問

【サンプル数】5639

価格

CD (PDF+Excel) 版+冊子 95,000円+税
CD (PDF+Excel) 版 or ダウンロード版 各85,000円+税

特別商品

本調査のローデータ付属版もご用意しています。CD (PDF + Excel) 版 300,000円+税
詳しい質問項目・ご購入はこちら <http://r.impressrd.jp/iil/iwp2012-2/>

[お問い合わせ] 下記フリーダイヤルまでお気軽に

インプレス インターネットメディア総合研究所 ご相談窓口 <http://r.impressrd.jp/iil/>

0120-350-995 平日 11:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
Tel. 03-5275-1087 Fax. 03-5213-6297

株式会社インプレスR&D
インターネットメディア総合研究所
E-mail: report-sales@impress.co.jp
東京都千代田区三番町20番地 〒102-0075
Tel. 03-5275-1087 Fax. 03-5275-9018

調査設問一覧

デバイス	自宅にある機器	ソーシャルメディア	非利用者のマイクロブログ利用意向
	今後2年以内に購入・買い替えたい機器		マイクロブログを利用しない理由
	スマートフォンの利用有無		ソーシャルアプリの認知度
	タブレット端末の利用有無		SNS 別利用しているサービス
	スマートフォンのOS		SNS 別利用目的
	スマートフォンの機種名		SNS で参加しているコミュニティー
	スマートフォンのメーカー		ソーシャルアプリ・ゲームの利用状況
	利用しているタブレット端末		ソーシャルアプリを利用するプラットフォーム
	スマートフォンの通信環境		今までに利用したことのあるソーシャルアプリ数
	タブレット端末の通信環境		現在よく利用しているアプリ数
	スマートフォンのキャリア		今までに利用したことのあるソーシャルアプリのジャンル
	タブレット端末のキャリア		現在よく利用しているアプリのジャンル
	スマートフォンを利用しはじめた時期		よく利用しているアプリ名
	現在利用しているスマートフォンを購入した時期		ソーシャルアプリの利用金額
	タブレット端末を利用しはじめた時期		アプリにおける友達への招待経験
	現在利用しているタブレット端末を利用しはじめた時期		ソーシャルアプリを利用する理由
	スマートフォンを購入したい時期		ソーシャルアプリの不満点
	タブレット端末を購入したい時期		ソーシャルアプリでの広告クリック経験
	スマートフォン購入意向者の興味のあるOS		ソーシャルアプリでのサイト登録によるポイント等の取得経験
	タブレット端末購入意向者の興味のあるOS		ソーシャルアプリによるSNSへのアクセス機会の変化
自宅パソコンのOS	今後のソーシャルアプリの利用機械の増減見込み		
自宅パソコンのブラウザ	ソーシャルアプリを利用しない理由		
IPTVの利用有無	非利用者のソーシャルアプリ利用意向		
IP電話の利用有無	非利用者のSNS利用意向		
インターネット利用全般	インターネットの利用場所	非利用者の利用しない理由	
	インターネット利用場所毎の利用機器	メディア比較	
	家庭内の通信回線利用状況	メディアの重要度比較	
	自宅パソコンの無線LAN利用状況	メディア別1日の接触時間	
	インターネットの利用時間帯	新聞や雑誌、書籍の1か月の購入金額	
	デバイス別インターネット利用時間	メディア別情報取得量	
	デバイス別1週間のインターネット利用時間	ウェブサイトのジャンル別情報取得量	
	デバイス別閲覧するウェブサイトのジャンル - 情報収集	ウェブサイトのジャンル別信頼できる情報量	
	デバイス別利用しているコミュニケーションツール	電子書籍	
	利用している無料通話アプリ	電子ブックリーダーの所有状況	
	利用している検索サービス	電子書籍の利用状況	
	最も利用している検索サービス	電子書籍の利用機器	
	デバイス別検索サービスの1日平均利用回数	デバイス別利用している電子書籍のジャンル	
	検索結果の満足度	デバイス別電子書籍の利用場所	
	デバイス別他メディアからの検索経験	電子書籍の購入先	
	デバイス別利用しているウェブメール	電子書籍ストアの選択基準	
	デバイス別各種ウェブサービスの利用率	購入する電子書籍は毎回同じか	
	デバイス別位置情報を利用したサービスの利用率	電子書籍の1か月の平均利用金額	
	デバイス別利用しているイーラーニングのジャンル	電子書籍の利用金額の見込み	
	フィードの認知度と利用状況	電子書籍の1か月の平均購入冊数	
デバイス別利用しているオンラインストレージ	電子書籍ストアへのアクセス頻度		
有料で利用しているオンラインストレージ	電子書籍の大人買い経験の有無		
デバイス別音声認識の利用状況	電子書籍の購入形態		
インターネット利用時間の内訳	購入した電子書籍のマルチデバイスでの利用有無		
利用しているインターネットサービス別モバイルでの利用割合	最近購入した電子書籍タイトル		
オンラインショッピング	デバイス別ECの利用状況	電子書籍の探し方	
	買い物際に最も有益だと思う情報源	電子書籍購入のきっかけ	
	買い物のためにインターネットで情報を収集した分野	電子書籍の人への紹介経験	
	実際にオンラインで購入した製品・サービスのジャンル	電子書籍の満足度	
	オンラインショッピング利用者のネットスーパーの認知と利用状況	電子書籍のよいと思う点	
	オンラインショッピングで1年間に使う金額	リフロー形式への意向	
	オンラインショッピングと実店舗における消費意欲の変化	電子書籍に求める機能	
	オンラインショッピングでの消費意欲が増加した理由	電子書籍ならではの付加機能への意向	
	共同購入するクーポンの利用状況	非利用者の電子書籍の利用意向	
	オンラインショッピングで最もよく利用する商品情報の探し方	電子書籍を購読したい端末	
利用している電子マネーの種類	購読したい電子書籍のジャンル		
ソーシャルメディア	デバイス別利用しているジャンル・ソーシャルメディア	紙に対する電子書籍の利用割合の予想	
	アカウントを保有しているソーシャルメディア	電子書籍を利用したくない理由	
	最も利用しているソーシャルメディア	電子書籍が普及すると思う時期	
	ソーシャルメディア別モバイルでの利用割合	電子書籍の価格水準への意向	
	ソーシャルメディア別閲覧頻度	紙書籍の発売から電子書籍の発売を待てる期間	
	ソーシャルメディア別書き込み・投稿頻度	有料コンテンツ	
	ソーシャルメディア別利用場所	デバイス別利用している無料コンテンツ	
	実名で利用しているソーシャルメディア	有料コンテンツ別1か月の利用金額	
	ソーシャルメディア間の連携の有無	有料コンテンツ料金の増減意向	
	ソーシャルメディア別友人の数	購入した動画のジャンル	
	うちリアルでも友人の割合	動画の購入先	
	ソーシャルメディア別企業アカウントのフォロー数	デバイス別インターネットラジオの利用状況	
	ソーシャルメディア別話題になった商品の購入経験	スマートフォンやタブレット端末のアプリの利用状況	
	ソーシャルメディア別広告のクリック経験	有料で利用しているアプリのジャンル	
	ソーシャルメディア別満足度	アプリの1か月の利用金額	
	ソーシャルメディア別継続意向	有料アプリのうち、電子書籍アプリの占める割合	
	動画共有サイトで視聴する動画のジャンル	今後のアプリの利用金額の見込み	
	ライブ配信サイトで視聴する動画のジャンル	広告	
	非利用者の動画共有サイト利用意向	デバイス別ウェブ広告の視聴率	
	非利用者のライブ配信サイト利用意向	クリックしたことのあるウェブ広告	
Twitterの利用目的	個人属性		
アメーバなうの利用目的	性年代、居住形態、地域		
保有するTwitterのアカウント数	世帯収入		
マイクロブログでフォローしているアカウント	利用デバイス派		
	1か月に自由に使える金額		
	最終学歴		
	自宅の接続回線		
	ソーシャルメディア利用有無		
	ソーシャルメディア情報発信有無		



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp